

事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	教-50	事務事業名	スポーツ推進事業交付金交付業務			部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係
事業No.	J000874	開始年度	平成10年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P406A	作成責任者	スポーツ振興課長

事業の目的	各校区協働のまちづくり協議会スポーツ関連部会が開催する事業を支援するため、予算の範囲内において定額を交付する。							予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)			
	事業概要	スポーツを通じて、地域の活性化や校区住民の交流・親睦を図るため、各校区協働のまちづくり協議会スポーツに関連する部会に対して支援を行う。							補正予算						
根拠法令、関係計画、通知等		小都市スポーツ推進事業交付金交付規則							前年度から繰越				執行率(%)	R04年度	R05年度
	活動目標及び活動実績1 (アウトプット)	活動指標	交付金を交付した、まちづくり協議会スポーツ関連部会の数	単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	計	560	560			歳入予算	R04年度
活動実績		校区数	8	8			執行額	560	560	歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)				
活動目標及び活動実績2 (アウトプット)	活動指標		単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	執行率(%)	100%		100%		歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	活動実績							歳入の内訳			国庫支出金				
単位当たりコスト	算出根拠		単位	R04年度	R05年度			予算内訳 (単位:千円)	国庫支出金				歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	X: 交付総額(単位:円)/Y交付団体数	単位当たりコスト	円	70,000.0	70,000.0				県支出金					歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)		成果目標	参加者数をR06年度までに840人	単位	R04年度	R05年度	中間目標 R03 年度	目標最終年度 R06 年度	使用料・手数料				歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)
	成果実績	人	1,249	2,259	140	-	分担金・負担金等			歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)				
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)	成果指標	まちづくり協議会スポーツ関連部会が開催するスポーツ事業の参加者	目標値	人	800	800	800	840	財産収入				歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	達成度	%	156	282	18	-	繰入金			歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)				
補足説明	R3年度の実績報告より参加者数の報告を求める。(R2年度の実績報告までは、参加者数の報告を求めていなかった。)							投入工数 (単位:人)	繰入金				歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								諸収入			歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標	成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	繰越金			歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果実績							地方債				歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							投入工数 (単位:人)	一般財源	560	560		歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								計	560	560	歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標	成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	歳出予算	R04年度	R05年度	歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果実績							負担金、補助及び交付金	560	560		歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							投入工数 (単位:人)	正職員	0.05	0.05		歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								再任用			歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標	成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	会計年度月額			歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果実績							会計年度日額				歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							投入工数 (単位:人)	計	0.05	0.05		歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								人件費合計(千円)	335	335	歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標	成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	総費用(千円)	895	895	歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)		
	成果実績							人件費等の修正(千円)				歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)		
補足説明	根拠として用いた統計・データ名(出典)							投入工数 (単位:人)	総費用(千円)※人件費等修正後	895	895		歳入の内訳	R05年度の主な収入内訳(名称等)	
	根拠として用いた統計・データ名(出典)								計	895	895	歳入の内訳		R05年度の主な収入内訳(名称等)	

シートNo.	教-50	事務事業名	スポーツ推進事業交付金交付業務	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係
事業No.	J000874	開始年度	平成10年度	終了予定年度	終了予定なし	作成責任者	スポーツ振興課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 各校区のまちづくり協議会スポーツ部会が開催するスポーツ事業に補助金を交付することは、地域スポーツの振興に効果的である。	○	各校区のまちづくり協議会スポーツ部会が開催するスポーツ事業に補助金を交付することは、地域スポーツの振興に効果的である。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	-	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 地域スポーツの振興のためには、欠かせない事業である。	○	地域スポーツの振興のためには、欠かせない事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 各校区のまちづくり協議会スポーツ部会が開催するスポーツ事業に限定している。	○	各校区のまちづくり協議会スポーツ部会が開催するスポーツ事業に限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○ 新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、事業が再開され、住民の交流や健康づくりを図ることができた。	○	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら実施し、住民の交流や健康づくりを図ることができた。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○ 新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、事業が再開され、住民の交流や健康づくりを図ることができた。	○	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら実施し、住民の交流や健康づくりを図ることができた。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）			
	課名			
	連番			
点検・改善結果	点検結果	新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、事業が再開され、住民の交流や健康づくりを図ることができた。		令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、実施した。
	改善の方向性	地域のスポーツ・レクリエーション行事が徐々に再開されることが見込まれる。地域のスポーツ行事をスポーツ推進委員が支援し、地域スポーツの推進を図る。		地域のスポーツ行事が徐々に再開されることが見込まれる。地域のスポーツ行事をスポーツ推進委員が支援し、地域スポーツの推進を図る。



シートNo.	教-51	事務事業名	スポーツ推進委員会関係業務	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係
事業No.	J000875	開始年度	昭和37年度	終了予定年度	終了予定なし	作成責任者	スポーツ振興課長
						2/2ページ	

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	○	市及び地域スポーツの振興及びスポーツ活動の推進を図る目的を達成するため、地域スポーツのコーディネーターであるスポーツ推進委員は必要である。	○	市及び地域スポーツの振興及びスポーツ活動の推進を図る目的を達成するため、地域スポーツのコーディネーターであるスポーツ推進委員は必要である。
	○	市及び地域スポーツのスポーツ事業の計画・立案・実施の中心的役割を担うスポーツ推進委員は、必要であり優先度の高い事業である。	○	市及び地域スポーツのスポーツ事業の計画・立案・実施の中心的役割を担うスポーツ推進委員は、必要であり優先度の高い事業である。
	-	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
事業の効率性	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	-	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	-	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	
	-	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	
	-	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	
	事業の有効性	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○
-		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
△		スポーツ推進委員を2名増員できた。また各校区のスポーツ推進委員の人数を平準化するために、各校区まちづくり協議会のスポーツ担当部会などに依頼する必要がある。	△	スポーツ推進委員を増員するため、また各校区のスポーツ推進委員の人数を平準化するために、各校区まちづくり協議会のスポーツ担当部会などに依頼する必要がある。
-		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業		関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）		
		課名		
		連番		
		事業名		
点検・改善結果	点検結果	スポーツ推進委員が地域スポーツ・レクリエーション行事の支援を行い、地域住民間の交流および健康づくりに資する地域スポーツの推進を図った。	スポーツ推進委員が地域スポーツ行事の支援を行い、地域住民間の交流および健康づくりに資する地域スポーツの推進を図った。	
	改善の方向性	今後も地域スポーツ推進のために地域スポーツ・レクリエーション行事の支援を行う。	今後も地域スポーツ推進のために地域スポーツ行事の支援を行う。	

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	教-52	事務事業名	ふるさとスポーツ大使関係業務		部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係	
事業No.	J004570	開始年度	平成29年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062	作成責任者	スポーツ振興課長

事業の目的		スポーツ大使を活用して、全国的に本市の情報を発信し、また市民に対しスポーツの魅力を発信してもらう。						<b>予算額・執行額</b> (単位:千円)		R04年度		R05年度		R05年度の主な収入内訳(名称等)	
事業概要		スポーツの分野で活躍の実績がある小郡市出身または小郡市にゆかりがあるトップアスリートやスポーツチームを小郡市スポーツ大使に委嘱し、スポーツイベント等での市民との交流を通してスポーツの魅力を発信してもらうとともに、全国に小郡市の情報を発信してもらうことで、市のイメージアップを図る。								当初予算 30 30 補正予算 前年度から繰越 翌年度へ繰越 予備費等 計 30 30 執行額 0 28 執行率(%) 0% 93%					
根拠法令、関係計画、通知等		小郡市ふるさとスポーツ大使設置要綱						<b>予算内訳</b> (単位:千円)		歳入予算		R05年度の主な収入内訳(名称等)			
活動目標及び活動実績1(アウトプット)		活動指標		ふるさとスポーツ大使の人数(年度末時点)	単位	R04年度	R05年度			R06年度	R07年度	国庫支出金			
活動目標及び活動実績2(アウトプット)		活動指標			単位	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	県支出金					
単位当たりコスト		算出根拠			単位	R04年度	R05年度			使用料・手数料					
成果目標及び成果実績1(アウトカム)		成果目標		スポーツ教室の開催回数・参加者数、広報、HP、SNSの掲載回数	単位	R04年度	R05年度	中間目標	目標最終年度	分担金・負担金等					
成果目標及び成果実績2(アウトカム)		成果指標		開催数・掲載回数	単位	R04年度	R05年度	年度	年度	財産収入					
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										繰入金			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										諸収入			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										繰越金			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										地方債			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										一般財源	30	30	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										計	30	30	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										歳出予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な使途
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										消耗品費	30	30	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										計	30	30	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										正職員	0.05	0.05	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										再任用	0		
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										会計年度月額	0.05	0.1	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										会計年度日額			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										計	0.10	0.15	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										人件費合計(千円)	485	635	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										総費用(千円)	485	663	
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										人件費等の修正(千円)			
補足説明		根拠として用いた統計・データ名(出典)										総費用(千円)※人件費等修正後	485	663	

シートNo.	教-52	事務事業名	ふるさとスポーツ大使関係業務	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係
事業No.	J004570	開始年度	平成29年度	終了予定年度	終了予定なし	作成責任者	スポーツ振興課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 小郡市の情報を全国に発信するために、また市民にスポーツの魅力を発信するためにスポーツ大使を活用することは有効である。	○	小郡市の情報を全国に発信するために、また市民にスポーツの魅力を発信するためにスポーツ大使を活用することは有効である。
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	-	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 市の情報発信及び市民にスポーツの魅力伝える手段として、スポーツ大使の活用は優先度の高い事業である。	○	市の情報発信及び市民にスポーツの魅力伝える手段として、スポーツ大使の活用は優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-			
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△ スポーツ大使の猪本光さんがサッカー女子FIFAワールドカップ2023に参加された。その試合のテレビ中継をパブリックビューイングした。スポーツ大使の中谷将大さんが引退試合と野球教室を実施した。	△	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、徐々にスポーツ行事が開催されたが、スポーツ大使の参加はできなかった。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△ スポーツ大使2名が現役選手や球団関係で多忙であり、日程調整等難しい面があるが、引き続きスポーツ大使としてできる活動を模索していく。	△	スポーツ大使2名が現役選手や球団関係で多忙であり、日程調整等難しい面があるが、引き続きスポーツ大使としてできる活動を模索していく。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）			
	課名			
	連番			
点検・改善結果	点検結果	新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、徐々にスポーツ行事が開催されたが、スポーツ大使の参加はできなかった。		新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、徐々にスポーツ行事が開催されたが、スポーツ大使の参加はできなかった。
	改善の方向性	スポーツ大使が現役スポーツ選手や球団関係で多忙なため日程調整が難しいが、今後もスポーツ大使の後援会等との連絡を密にし、スポーツ大使のスケジュールの空いた日にスポーツ行事を開催できるよう調整していく。		スポーツ大使が現役スポーツ選手や球団関係で多忙なため日程調整が難しいが、今後もスポーツ大使の後援会等との連絡を密にし、スポーツ大使のスケジュールの空いた日にスポーツ行事を開催できるよう調整していく。

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	教-53	事務事業名	スポーツ推進審議会関係業務		部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係	
事業No.	J004352	開始年度	平成27年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062	作成責任者	スポーツ振興課長

事業の目的	小郡市スポーツ推進審議会において、本市のスポーツ推進に関する各種事項について討議し、必要に応じて教育委員会に建議する。								予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)			
	事業概要	本市におけるスポーツ事業の推進に資するため設置する小郡市スポーツ推進審議会の運営に関する業務								補正予算						
根拠法令、関係計画、通知等		スポーツ基本法								前年度から繰越				歳入予算	R04年度	R05年度
	活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動目標	開催回数		単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	計	67	67			歳出予算	R04年度
活動目標及び活動実績2(アウトプット)		活動目標			単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	執行額	57	57		R05年度の主な使途		
	単位当たりコスト	算出根拠			単位	R04年度	R05年度			執行率(%)	85%	85%			R05年度の主な収入内訳(名称等)	
成果目標及び成果実績1(アウトカム)		成果目標	評価した件数をR6年度までに2件		単位	R04年度	R05年度	中間目標 R03 年度	目標最終年度 R06 年度	国庫支出金				R05年度の主な使途		
	成果指標	評価した件数		単位	R04年度	R05年度	目標値	2	2	県支出金					R05年度の主な使途	
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								計算式	X/Y	67,000/2	67,000/2		R05年度の主な使途		
	補足説明								達成度	%	100	100			100	2
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								投入工数 (単位:人)				R05年度の主な使途			
	補足説明								正職員		0.05	0.5		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								再任用				R05年度の主な使途			
	補足説明								会計年度月額		0.05	0.1		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								総費用合計(千円)		485	3,650	R05年度の主な使途			
	補足説明								総費用(千円)		542	3,707		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								人件費等の修正(千円)				R05年度の主な使途			
	補足説明								総費用(千円)※人件費等修正後		542	3,707		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								計		67	67	R05年度の主な使途			
	補足説明								計		67	67		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								報酬		61	61	R05年度の主な使途			
	補足説明								旅費		6	6		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								計		67	67	R05年度の主な使途			
	補足説明								計		67	67		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								地方債				R05年度の主な使途			
	補足説明								一般財源		67	67		R05年度の主な使途		
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	補足説明								計		67	67	R05年度の主な使途			
	補足説明								計		67	67		R05年度の主な使途		

シートNo.	教-53	事務事業名	スポーツ推進審議会関係業務	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係
事業No.	J004352	開始年度	平成27年度	終了予定年度	終了予定なし	作成責任者	スポーツ振興課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	○	本市のスポーツ事業がスポーツ推進基本計画に沿った事業展開が出来ているか評価する場として、ニーズがある。	○	本市のスポーツ事業がスポーツ推進基本計画に沿った事業展開が出来ているか評価する場として、ニーズがある。
	-		-	
	○	本市のスポーツ推進に資するため、スポーツ基本法第31条に基づき設置している。	○	本市のスポーツ推進に資するため、スポーツ基本法第31条に基づき設置している。
事業の効率性	-	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	-	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	-	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	-	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	
	-	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	
	-	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	
事業の有効性	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	目標である審議会2回を対面で開催した。
	-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	目標の審議会2回を対面で開催した。
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業		関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）		
		課名		
		連番		
		事業名		
点検・改善結果	点検結果	市のスポーツ行政の在り方について、各選出分野からの意見交換を行った。今後は各選出分野から出された課題等について施策に繋げていく必要がある。	市のスポーツ行政の在り方について、各選出分野からの意見交換を行った。今後は各選出分野から出された課題等について施策に繋げていく必要がある。	
	改善の方向性	本市のスポーツに関する施策の推進に向け、引き続き審議会の中で方向性を示していく。	本市のスポーツに関する施策の推進に向け、引き続き審議会の中で方向性を示していく。	



# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	教-54	事務事業名	クロスロードスポーツ・レクリエーション祭開催事業	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係			
事業No.	J000878	開始年度	平成2年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062	作成責任者	スポーツ振興課長	1/2ページ

<b>事業の目的</b>		スポーツ・レクリエーションを通して、クロスロード地区住民の更なる交流と健康増進を図ってもらう。							<b>予算額・執行額</b> (単位:千円)		R04年度		R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)
<b>事業概要</b>		小郡市・久留米市・鳥栖市・基山町の3市1町のクロスロード地区で、「クロスロードスポーツ・レクリエーション祭」と称するスポーツ・レクリエーション行事(令和5年度は、ラージボール卓球、スポンジテニス、ベタンク、ふらばーボールバレーの4種目)を実施することにより、3市1町の住民の交流と親睦を図る。									当初予算	396	300	
<b>根拠法令、関係計画、通知等</b>		筑後川流域クロスロード協議会							補正予算					
<b>活動目標及び活動実績1</b> (アウトプット)	活動指標	開催回数	単位	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	前年度から繰越						
				活動実績	回	1	1	活動見込						
<b>活動目標及び活動実績2</b> (アウトプット)	活動指標	単位	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	翌年度へ繰越							
			活動実績				活動見込							
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	R04年度	R05年度			予備費等						
	X:総費用(単位:円)/ Y:参加者数(単位:人)		単位当たりコスト	円				計	396	300				
			計算式	X/Y				執行額	346	300				
<b>成果目標及び成果実績1</b> (アウトカム)	成果目標	参加者数をR5年度までに106人	単位	R04年度	R05年度	中間目標	目標最終年度	執行率(%)	87%	100%				
	成果実績		人	46	66	R3年度	R5年度	歳入予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)			
	成果指標	参加者数	人	120	106	110	106	国庫支出金						
	達成度	%	38	62	-	62		県支出金						
	補足説明								使用料・手数料					
<b>成果目標及び成果実績2</b> (アウトカム)	成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標	目標最終年度	分担金・負担金等						
	成果実績							財産収入						
	成果指標		%					繰入金						
	達成度							諸収入						
	補足説明								繰越金					
									地方債					
									一般財源	396	300			
									計	396	300			
									歳出予算	R04年度	R05年度	R05年度の主な使途		
									報償費	96	0			
									負担金、補助及び交付金	300	300			
									計	396	300			
									正職員	0.1	0.1			
									再任用					
									会計年度月額	0.1	0.1			
									会計年度日額					
									計	0.20	0.20			
									人件費合計(千円)	970	970			
									総費用(千円)	1,316	1,270			
									人件費等の修正(千円)					
									総費用(千円)※人件費等修正後	1,316	1,270			

シートNo.	教-54	事務事業名	クロスロードスポーツ・レクリエーション祭開催事業	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係
事業No.	J000878	開始年度	平成2年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062
						作成責任者	スポーツ振興課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	○	33回目の開催となり、当初の目的であるクロスロード3市1町の住民の交流と健康増進を図る目的はほぼ達成されている。	○	今年で32回目の開催(コロナ禍のため中止)となり、当初の目的であるクロスロード3市1町の住民の交流と健康増進を図る目的はほぼ達成されている。
	△	各競技団体への移行は可能であると思われるため、今後実行委員会に諮り検討していく。	△	各競技団体への移行は可能であると思われるため、今後実行委員会に諮り検討していく。
	○	3市1町の住民の交流と健康増進を図る達成手段として、優先度の高い事業である。	○	3市1町の住民の交流と健康増進を図る達成手段として、優先度の高い事業である。
事業の効率性	-	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	-	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	-	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	-	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	-	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	-	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	新型コロナウイルス感染症対策をとり、実施した。
	-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	△	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	募集した120人に対して46人の参加であった。新型コロナウイルス感染症対策をとり実施したが、参加を控えた方もあったと考える。
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	-	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)	-	
		課名		
		連番		
		事業名		
点検・改善結果	点検結果	新型コロナウイルス感染症が5類となり、通常どおり実施した。	令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策をとり実施した。	
	改善の方向性	当初の目的であるクロスロード地区住民の交流と健康増進を図る目的は達成されており、参加者の固定化、競技化が進んでいる。今後は各競技団体へ事業移行できる方向で検討していくとともに、気軽に参加できる行事ともなるように検討する。	当初の目的であるクロスロード地区住民の交流と健康増進を図る目的は達成されており、参加者の固定化、競技化が進んでいる。今後は各競技団体へ事業移行できる方向で検討していくとともに、気軽に参加できる行事ともなるように検討する。	

事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	教-55	事務事業名	プロスポーツ団体との地域連携協定		部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係	
事業No.	R030027	開始年度	令和3年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062	作成責任者	スポーツ振興課長

事業の目的		プロスポーツ団体と地域連携協定を締結し、子どもたちを中心に、“夢と希望を育むスポーツイベントの開催”など多様な取り組みを展開する。						予算額・執行額 (単位:千円)		R04年度		R05年度					
事業概要		これまで、市スポーツ協会によるウエスタン・リーグ公式戦、ホークス選手による野球教室、アビスパ福岡のコーチの指導によるスポーツイベントを開催してきたが、今後スポーツに限らず様々な分野で交流し、新たなイベントを開催する。						予算状況									
根拠法令、関係計画、通知等		第2期「もっと つながろう 小郡アクションプラン」						執行額									
活動目標及び活動実績1 (アウトプット)		活動目標	プロスポーツ団体との地域連携協定の調査	単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	執行率(%)								
		活動実績		回	2	2											
		当初見込		回	2	2											
活動目標及び活動実績2 (アウトプット)		活動目標		単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	歳入予算		R04年度		R05年度		R05年度の主な収入内訳(名称等)		
		活動実績							歳入予算						R05年度の主な収入内訳(名称等)		
		当初見込							歳入予算						R05年度の主な収入内訳(名称等)		
単位当たりコスト		算出根拠		単位	R04年度	R05年度			歳出予算		R04年度		R05年度		R05年度の主な使途		
		調査に係る費用(千円)/調査の回数		単位当たりコスト	千円/回	185.0	167.5										
				計算式	X/Y	370/2	335/2										
成果目標及び成果実績1 (アウトカム)		成果目標	プロスポーツ団体との地域連携協定に関する調査の回数	単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	計		0		0				
		成果実績			2	2	2	2									
		成果指標	調査の回数	目標値	2	2	2	2									
		達成度	%	100%	100%												
		補足説明							投入工数 (単位:人)		正職員		0.05		0.05		
		根拠として用いた統計・データ名(出典)									再任用						
											会計年度月額						
											会計年度日額						
											計		0.05		0.05		
成果目標及び成果実績2 (アウトカム)		成果目標		単位	R04年度	R05年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	人件費合計(千円)		335		335				
		成果実績							総費用(千円)		335		335				
		成果指標		目標値					人件費等の修正(千円)								
		達成度	%						総費用(千円)※人件費等修正後		335		335				
		補足説明															
		根拠として用いた統計・データ名(出典)															

シートNo.	教-55	事務事業名	プロスポーツ団体との地域連携協定		部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係	
事業No.	R030027	開始年度	令和3年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062	作成責任者	スポーツ振興課長

項目		令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
		評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	-		-	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	-		-	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	-		-	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-		-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-		-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		-	
事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		-	
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)	-		-	
	課名				
	連番				
	事業名				
点検・改善結果	点検結果	令和3年度に地域連携協定についてプロスポーツ球団に調査を行った結果、市とプロスポーツ球団双方にメリットがないと協定の締結は難しいことが分かっている。		令和3年度に地域連携協定についてプロスポーツ球団に調査を行った結果、市とプロスポーツ球団双方にメリットがないと協定の締結は難しいことが分かっている。	
	改善の方向性	今後、スポーツ団体と連携協定の有無にかかわらず、良好な関係を保ちながら、スポーツに限らず様々な分野での交流を模索し、新たな分野でのイベント等の開催を目指す。		今後、スポーツ団体と連携協定の有無にかかわらず、良好な関係を保ちながら、スポーツに限らず様々な分野での交流を模索し、新たな分野でのイベント等の開催を目指す。	

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	教-56	事務事業名	全国大会等出場補助金交付業務		部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係	
事業No.	J000873	開始年度	平成4年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062	作成責任者	スポーツ振興課長

<b>事業の目的</b>		全国大会等への出場者の負担軽減と、出場意欲の増進や競技力の向上を支援する。						<b>予算額・執行額</b> (単位:千円)		R04年度		R05年度	/	
<b>事業概要</b>		市民の社会体育活動に伴い、全国・西日本・九州地区における各種スポーツ大会に出場する場合に、補助金を交付するもの。補助金額については、開催地区により、国外2万円、全国(西日本地区、九州地区を除く)1万円、西日本地区8千円(近畿地区以西で、九州地区を除く)、九州地区(福岡県2千円、佐賀県・長崎県・大分県4千円、熊本県・宮崎県・鹿児島県5千円、沖縄県1万円)とする。								当初予算		550		550
<b>根拠法令、関係計画、通知等</b>		小都市スポーツ大会出場費補助金交付要綱						予算状況		補正予算				
<b>活動目標及び活動実績1</b> (アウトプット)		活動指標	制度周知活動(HPへ掲載)	活動実績	件	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	前年度から繰越				
				当初見込	件	1	1			翌年度へ繰越				
<b>活動目標及び活動実績2</b> (アウトプット)		活動指標	活動実績		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	予備費等					
			当初見込						計		550	550		
<b>単位当たりコスト</b>		算出根拠		単位	R04年度	R05年度	/		執行額		452	376		
		X:総事業費(単位:円)/ Y:交付件数(単位:人)		単位当たりコスト	円	10,044.4			7,094.3	執行率(%)		82%		68%
<b>成果目標及び成果実績1</b> (アウトカム)		成果目標	補助金の交付件数をR6年度までに60人	成果実績	人	45	53	中間目標	目標最終年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)				
				目標値	人	50	50	R03年度	R06年度					
		達成度	%	90	106	60	-							
		補足説明												
<b>成果目標及び成果実績2</b> (アウトカム)		成果指標	成果実績							歳入予算		R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)
			目標値								歳入予算		R04年度	
<b>補足説明</b>		根拠として用いた統計・データ名(出典)						投入工数		正職員		0.25	0.3	/
		根拠として用いた統計・データ名(出典)						再任用		会計年度月額		0		
<b>補足説明</b>		根拠として用いた統計・データ名(出典)						会計年度日額		会計年度日額		0		
		根拠として用いた統計・データ名(出典)						計		計		0.30	0.30	
<b>補足説明</b>		根拠として用いた統計・データ名(出典)						人件費合計(千円)		人件費合計(千円)		1,825	2,010	
		根拠として用いた統計・データ名(出典)						総費用(千円)		総費用(千円)		2,277	2,386	
<b>補足説明</b>		根拠として用いた統計・データ名(出典)						人件費等の修正(千円)		人件費等の修正(千円)				
		根拠として用いた統計・データ名(出典)						総費用(千円)※人件費等修正後		総費用(千円)※人件費等修正後		2,277	2,386	

シートNo.	教-56	事務事業名	全国大会等出場補助金交付業務	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	スポーツ推進係
事業No.	J000873	開始年度	平成4年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062
						作成責任者	スポーツ振興課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	○	全国大会等に出場する市民の負担軽減及び出場意欲の増進が図られている。	○	全国大会等に出場する市民の負担軽減及び出場意欲の増進が図られている。
	-		-	
	○	全国大会に出場する市民に直接補助を行うものであり適切な事業である。	○	全国大会に出場する市民に直接補助を行うものであり適切な事業である。
事業の効率性	-	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	-	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	-	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	○	単当たりコスト等の水準は妥当か。	○	大会の開催場所によって、金額を定めており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	全国大会に出場する市民に限定している。
	-	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-	
-	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		
-	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	-	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	-	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-	
		課名		
		連番		
		事業名		
点検・改善結果	点検結果	新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、全国大会の開催が再開され、交付件数も増加の傾向がある。	R4年度は、コロナ禍も徐々に回復し全国大会の開催が行われ交付件数も増加の傾向がある。	
	改善の方向性	上記理由により交付件数が増加し、今後も全国大会に出場する市民の負担軽減と意欲増進のため事業を継続していく。	R4年度は、上記理由により交付件数が増加し、今後も全国大会に出場する市民の負担軽減と意欲増進のため事業を継続していく。	

# 事務事業評価シート(令和5年度事務事業)

シートNo.	教-57	事務事業名	運動公園野球場・陸上競技場施設改修事業		部・課・係	教育部	スポーツ振興課	管理係	
事業No.	R030026	開始年度	令和2年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P4062	作成責任者	スポーツ振興課長

事業の目的	・陸上競技場及び野球場の観客席の防水工事並びに野球場及びテニスコートの夜間照明の改修工事を実施することで施設の長寿命化・省エネルギー化を図る。また、防水工事を着手するにあたり、陸上競技場・野球場屋根(観客席)防水工事に伴う設計監理業務委託を行う。							予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算 補正予算 前年度から繰越 翌年度へ繰越 予備費等 計	R04年度	R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)
	事業概要	・公共施設総合管理計画の個別施設計画に基づき、小郡市陸上競技場・野球場・テニスコート施設・設備の計画的な改修工事を実施するもの。 ・各施設では、建設後、約29年経過し、施設・設備の老朽化が著しく、長寿命化を図るためには計画的な施設・設備の改修が必要である。 ・施設面では陸上競技場及び野球場の観客席の防水工事、設備面では、野球場及びテニスコートの夜間照明の改修工事を実施し、施設の長寿命化・省エネルギー化を図る。							執行額 執行率(%)	1,578 1,485 94%	1,578 1,485	
根拠法令、関係計画、通知等		・小郡市スポーツ推進基本計画 ・小郡市公共施設等総合管理計画							予算内訳 (単位:千円)	歳入予算 国庫支出金 県支出金 使用料・手数料 分担金・負担金等 財産収入 繰入金 諸収入 繰越金 地方債 一般財源 計	R04年度 R05年度	R05年度の主な収入内訳(名称等)
活動目標及び活動実績1(アウトプット)	活動目標	-	単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込	歳出予算 繰出予算 繰上競技場・野球場屋根防水工事設計監理業務委託料 計		R04年度 R05年度	R05年度の主な使途	
活動目標及び活動実績2(アウトプット)	活動目標	-	単位	R04年度	R05年度	R06年度 活動見込	R07年度 活動見込		1,578 1,578	1,578 1,578	設計監理	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	R04年度	R05年度	中間目標 R5年度 目標最終年度 R7年度		投入工数 (単位:人)	正職員 再任用 会計年度月額 会計年度日額 計	0.00 0.15		
	単位当たりコスト	-	計算式	X/Y							人件費合計(千円) 総費用(千円) 人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後	0 0 0 0
成果目標及び成果実績1(アウトカム)	成果目標	計画的に改修して行くことで施設の長寿命化を図る	単位	R04年度	R05年度	中間目標 R5年度	目標最終年度 R7年度	総費用(千円)※人件費等修正後	0 2,490			
	成果指標	改修箇所数	箇所	-	2	4	4					
成果目標及び成果実績2(アウトカム)	成果目標	-	単位	R04年度	R05年度	中間目標 R5年度	目標最終年度 R7年度	総費用(千円)※人件費等修正後	0 2,490			
	成果指標	改修箇所数	箇所	-	4	4	4					
補足説明		本事業は整備するかしないかという性質のため、定量的な目標設定ができない。										
根拠として用いた統計・データ名(出典)												
補足説明												
根拠として用いた統計・データ名(出典)												

シートNo.	教-57	事務事業名	運動公園野球場・陸上競技場施設改修事業	部・課・係	教育部	スポーツ振興課	管理係
事業No.	R030026	開始年度	令和2年度	終了予定年度	終了予定なし	作成責任者	スポーツ振興課長

項目	令和5年度 事務事業担当課による点検・改善		＜参考＞令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	
	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の必要性	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	計画的に改修していくことにより、施設の長寿命化を図るとともに、施設を安全かつ快適に利用者へ提供できる。	
	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	市が管理する施設の維持補修であるため、市で実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	公共施設総合管理計画の個別施設計画に基づき、小郡市陸上競技場・野球場の施設・設備の計画的な改修工事を実施するもの。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	適正な入札により業者が選定され、業務を実施している。	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約（プロポーザル）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	市が管理する施設の維持補修であるため、市で実施する必要がある。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を右に記載）	-		
	課名			
	連番			
点検・改善結果	点検結果	計画的に改修していくことで、施設の長寿命化を図ることができ、施設を安全かつ快適に利用者へ提供するには計画的に実施する必要がある。		
	改善の方向性	老朽化が進む施設に関しては、整備計画を策定していく。		